



ICHITOKU

川越市立特別支援学校 学校だより

令和7年7月14日発行 第4号

学校教育目標『ひとりだちする生徒』

TEL049-222-2753 Fax049-229-1231

戦後80年 沖縄の修学旅行で学んだこと

校長 肥留間 智子

本校に着任して4年目、沖縄への修学旅行は4回目になります。この時期の沖縄の天気は晴れることが多く、天気の心配をすることなく3日間を過ごすことができました。修学旅行の事前学習で、3年生は国語や社会、音楽、総合的な探究の時間など様々な授業を通して、平和学習や沖縄の自然、地理、文化、食べ物、特産品について学んできました。

中でも、沖縄に住んでいらっしゃる平和学習アドバイザーの方と、オンラインでつないで講話を聞いたあと、現地沖縄で直接お会いしてお話を伺うという授業は、楽しみな学習の一つです。平和学習アドバイザーの方は、優しい語り口でありながら様々な思いを込め、心に染み入るお話をしてくださいました。今回、沖縄でお話を伺った場所は、宜野湾市にある嘉数高台公園です。この場所は、これまで本校の修学旅行では行ったことがなく、今年初めて訪れました。天気は晴れ。広くて青い空と白い雲。そんな空を見上げていると、時々アメリカの飛行機が飛んできます。公園の展望台からは、普天間基地にたくさんの飛行機が並んでいるのがよく見えました。大きな音を立てて飛び飛行機は、機体を低くして住宅の上を基地に向かって着陸していきます。沖縄は暑いけれど、時々吹く風が涼しく気持ちがよくて素敵なおところです。しかし、沖縄について見たり、聞いたりすると、心に感じるものがたくさんありました。面白いような悲しいような、楽しいような苦しいような、いろいろな気持ちが湧いてきます。生徒たちは、学んだ全てを言葉や文章で表現することは難しいけれども、素直な気持ちで受け止めている姿が活動の中で見られ、多くの学びもお土産に持ち帰ることができました。



平和学習アドバイザーの方は、毎年、自ら志願して本校の担当となり、平和学習の講話をしてくれています。今年は、黒糖の飴をお土産にいただき、私たちは手工芸班で作ったコースターをプレゼントしました。本校の修学旅行は、その方のおかげで他校では体験できない温かさあふれる思い出深いものになっています。まさに「人と人とのつながりの大切さ」を感じました。また、私たちが当たり前のように過ごしている今の生活も、多くの方々のお陰で成り立っていることも学び、感謝の気持ちでいっぱいになりました。この素敵な修学旅行の伝統が、ずっと続くといいなと思います。ぜひ1、2年生も、一年後、二年後の3年生で行く沖縄の修学旅行を楽しみにしててください。

最後に、間もなく一学期が終わります。お陰様で、大きな事故もなく、毎日の学習も行事も滞りなく行うことができました。保護者の皆様、地域の皆様、そして実習等でお世話になった企業様、事業所様、本校の教育活動にご理解ご協力いただきまして、ありがとうございました。二学期もどうぞよろしくお願いいたします。